



代表取締役 石原 保志

暑中お見舞い 申し上げます



盛夏の候、皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。

多くの企業で夏季休暇が設けられるこの時期、慌ただしい日常から一歩離れ、「考える時間」を持つことは、経営者にとっても非常に大切なひとときです。

8月は自らの内面に目を向けるのにふさわしい時期ではないでしょうか。

昨今、経営と人間力を結ぶ「リベラルアーツ（教養）」が注目されています。デジタル化や生成 AI の進展により、合理性や即効性が求められる現代において、あえて“非効率”とも見える「芸術」「哲学」「歴史」などに触れることが、視野を広げ、判断力や直観力を深めるための鍵になるのではないのでしょうか。

かく言う私も、長年やりたい!と思っていた「シェア畑」を借り、野菜作りをはじめました。

青い草や土の香りを感じながら汗を流し、ひたすら土と向き合いながら手を動かしていると、不思議と頭がクリアになってくるのを感じます。

そんな時、気になっていたことが違う側面から見えてきたり、問題を解決する糸口が見つかったりします。

経営は論理だけで成り立つものではありません。ときに、私たちが持つ、説明のつかない感情や、自身含め価値観への洞察が、困難な局面を乗り越えるヒントとなります。そうした“心の余白”が、次なる一手を生む余地となり、持続的な経営の礎になることでしょう。

今号では、リーダーとしての思考を深めるための読書案内や、メンバーシップのイベントで行いました座禅、写経の様子、そして夏の静けさの中で自身と向き合うための思索のヒントなどを紹介しております。

この夏、少しだけ「成果」や「効率」から距離を置き、思いきって“自分の感性”を耕してみる——そんな時間を皆様が持たれることを願いつつ、本号がその一助となれば幸いです。

引き続き、皆様の経営と人生に寄り添える情報をお届けしてまいります。

万博トリビア

そもそも万博って？

正式名称は国際博覧会、もしくは万国博覧会。規模や開催期間により、2種類に分けられる。

「登録博覧会」は5年以上間隔を空ける決まりで、広さ制限はなく、開催期間は6か月まで。

「認定博覧会」は登録博覧会の間に1回開くことで、25ha以内で、期間は3か月まで。

ちなみに、2027年に横浜で開催される「GREEN×EXPO 2027」は、国際園芸協会が認定した『国際園芸博覧会』。



知ってた？
しっぽにも
目があるんだよ。



GREEN
x
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

万博の歴史は？

世界初の万博は、1851年に産業革命発祥の地ロンドンで開催。日本が初めて正式に参加した万博は、1867年のパリ万博で漆器、陶磁器、浮世絵などが展示され渋沢栄一も参加。彼の現地での経験が日本の産業育成に生かされた。

万博がきっかけで普及したものは？

- | | | |
|------------|-------|---------------------|
| ・エレベーター | ・テレビ | ・ウォシュレット |
| ・エスカレーター | ・冷蔵庫 | ・缶コーヒー |
| ・電話機 | ・電波時計 | ・回転ずし |
| ・ワイヤレステレホン | ・動く歩道 | ・ブルガリアヨーグルト
などなど |



この漢字
知ってる？

間

「間（ま）」を味方にする夏

“止まる”から 見えてくる、気づきとひらめき



前回の会報誌では、経営における「心・技・体」のバランスについてお届けしました。

今号では、その続編として「間（ま）」というちょっと変わったテーマを取り上げてみたいと思います。

間

「間」の旧字体
読み：あいだ・ま・かん

門と、月（つき）とから成り、夜に、門のすきまから月が見えることから、すきまの意を表す。「間」という漢字は、もともと「門の隙間から見える月」という具体的な情景から派生し、そこから「すきま」「ひま」「時間」といった抽象的な意味へと発展していきました。「間」は単なる空白ではなく、光を通す“通路”のような存在なのかもしれません。

“間”と聞くと、時間のすき間や空白のようなものをイメージされるかもしれませんね。私が思う“間”とは、例えば音楽と音楽の間にある無音の一拍、ダンスの動作と動作のあいだの呼吸の時間。

音楽もダンスも、そんなちょっとした“間”をどう表現するかで個性がでたりします。「間」は単なる空白ではなく、「あえて何もしない、あえて黙る」ことで生まれる、奥行きのある世界観や深い感動なのではないでしょうか。



では、経営の中にある“間”とは、どんなもの、ことを想像されますか？
たとえば、会話と会話のあいだに流れる空気。
会議で誰かが話し終えたあと、すぐに次の声が重ならない静けさ。
忙しさの中にふと訪れる、無言の「考える時間」。
こうした“間”には、人や組織の本質がにじみ出るように思うのです。

最近、どの業界も変化のスピードが速く、情報もやり取りも常に“即時対応”が求められています。

もちろんスピードは大切。

でも時には、あえて立ち止まってみる——決めない時間をもつこと——が、長い目で見て大きな力になると感じます。私自身、仕事の中で「少し置いてみる」「一晩寝かせて考えてみる」ことで、視野が広がったり、思いもよらないアイデアが浮かんだりすることがよくあります。

“すぐに動かない”という選択もまた、経営判断のひとつだと思います。



「心技体」が整った先にあるのは、“間”の感覚。

目に見えないからこそ、意識しないとすぐに失われてしまいますし、思考のあちらとこちらが繋がって生まれるアイディアも、リベラルアーツ・芸術や歴史・教養があつてこそ。この夏、あえて「間をとる時間」を日常の中に取り入れてみると、新たな気づきが生まれるかもしれませんね。

教養を深める
この1冊

B お
O す
O す
K め



菜根譚

中国明代の洪自誠が人間いかに生きべきかを、様々な角度から論じた人生指南の書。



中学生までに読んでおきたい哲学

学者、思想家、小説家、詩人、劇作家、映画監督、俳優、芸術家など、多彩な書き手による人生案内。「考えること」を楽しもう！



自省録

万年も生きるかのように行動するな。生きているうちに、許されている間に、善き人たれ—ローマ皇帝マルクス・アウレーリウス(121-180)。多端な公務に東奔西走しつつ、透徹した目で自らを内省した記録。



サピエンス全史(上・下) 文明の構造と人類の幸福

私たち現生人類につながるホモ・サピエンスは、20万年前、東アフリカに出現した。その頃にはすでに他の人類種もいたのだが、なぜ私たちの祖先だけが生き延びて食物連鎖の頂点に立ち文明を築いたのか？

どんな「間」が
思い浮かびますか？

さまざまな「間」

隙間

余白があるからこそ主役が引き立つ。
余白をどう使うかが、日常を豊かにします。

間がいい

タイミングや空気を自然と読める人。まさに“察する力”の現れ。

間が抜ける

どこか緊張感がなく、抜けている感じ。それもまた“間”のコントロールのひとつ。

間を持たせる

空白をどう埋めるか。話し手の技量だけでなく、場の設計力も問われます。

間一髪

ギリギリのタイミング。助かるかどうかの分かれ目に、“間”の重みを痛感します。

間隙（かんげき）を突く

ほんのわずかな油断や隙を見逃さないこと。ビジネスでも競争でも、侮れない“間”。

間合い

武道だけでなく、会話や商談、対人関係でも重要。近すぎても遠すぎても成り立たない絶妙な距離感。

時間

当たり前すぎて意識されない「資源」。使うのではなく「過ごす」ことで、質が変わります。

間に合う

タイミングは絶妙なもの。ぴったり合えば安堵、逸すれば焦燥。その差はわずか一瞬。

間延び

締まりのない印象を与える状態。テンポや区切りの「間」がもたらす印象は思いのほか大きい。

人間

人と人との“間”にあるもの。だからこそ、孤立しては成立しない存在なのかもしれません。

仲間

単に一緒にいる人ではなく、時間や経験、想いを共有できる存在。

ほかにも、行間・空間・間が伸びる・間奏・波間・間際・手間など、「間」という字が使われる言葉は 300 語とも 500 語とも言われています。

それだけ、私たちの暮らしや感覚の中に、「間」は深く息づいているということかもしれません。

“間”のつく言葉は、どれも“人”と“時間”と“心”が交差する場所にある気がします。

夏休みに
おすすめ！

こんな「間」の感じ方はいかがですか？

この夏、自分自身の“間”と向き合ってみませんか？ 忙しい日々を離れ、ほんの少し立ち止まってみる。そんな時間の中に、思いがけない発見や、深呼吸のような気づきがあるかもしれません。

お寺を感じる

京都妙心寺の無料オンライン座禅体験

「呼吸」「沈黙」「思考」と向き合うことで決断力が研ぎ澄まされます。

YouTube で法話

心に響く住職の言葉で、日常に「間」と気づきを。耳で味わう“静寂”。

金閣寺

画面越しに味わう黄金の静けさ。
歴史と自然が織りなす、心落ち着くひととき。



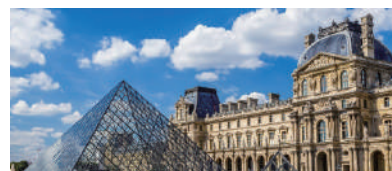
バーチャルツアー

システーナ礼拝堂

美と荘厳が共存する“沈黙の空間”で、創造性を刺激。グローバルビジネスの感性育成にも。

ルーブル美術館

世界 3 大美術館の一つ、ルーブル美術館の魅力を堪能できる。



スミソニアン国立自然史博物館

博物館内すべての展示を 360 度見渡すことができる。

能や落語を聴く

「間を詰めすぎない」伝統芸能から、会話・プレゼン・営業のヒントが得られます。

ソルフェジオ音階に浸る

癒しや精神的な効果があるとされる、特定の音の周波数による音階です。古代の聖歌やモーツァルトの楽曲にも使われていると言われており、音楽療法や瞑想の分野で注目されています。静けさや「間」を感じたいときに、耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



ダイアログ・イン・ザ・ダークを体験

純度 100% の暗闇”を探検し、視覚以外の様々な感覚を研ぎ澄ませ、五感の豊かさを感じる「ソーシャルエンターテインメント」です。社員研修にもお勧めです。

目以外のなにかで
ものを見たことが
ありますか？





ホームページ、作っただけで満足していませんか

“信頼される” ホームページに育てよう！

「ホームページを作ったけれど、そのあとどうすればいいかわからない」
「どれくらいの人が見てくれているのか気になる」そんな声をよく耳にします。
実は、ホームページは「作ること」がゴールではなく、“育てていく”ことが大切です。
そして、その第一歩となるのが「**Googleアナリティクス**」という解析ツールです。
閲覧数や見られたページ、滞在時間、閲覧に使ったデバイスなど、
さまざまなデータを確認できるツールです。
改善ポイントが見つかったら、Googleが検索順位を決めるときに重視している
「**EEAT**（イーイーエーティー）」という視点で、成果につながるホームページに育てていきましょう。

弊社のアクセス解析サービスをご利用いただき、ホームページ活用にお役立ていただいているメンバー様も多くいらっしゃいます！



01 アクセスを「見える化」する

Googleアナリティクスを使って

- ・ 何人見ている？
- ・ どのページが人気？
- ・ スマホ or パソコン？ など解析

02 「改善ポイント」を見つける

- ・ 読まれていないページ ▶ 内容の見直し
- ・ 人気ページ ▶ もっとわかりやすく
- ・ 見づらい部分 ▶ デザイン修正

03 「信頼される内容」に育てる

Googleが評価する4つの視点「EEAT」

- E**xperience (経験)： 実績・スタッフの声
- E**xpertise (専門性)： 業務紹介・資格
- A**uthoritativeness (権威性)： 沿革・取引先、受賞歴
- T**rustworthiness (信頼性)： 会社情報・連絡先

04 HPが「営業マン」へ

- ・ Googleの検索結果で上位に表示されやすくなる
- ・ ユーザーから「この会社なら安心できそう」と思ってもらえる
- ・ 問い合わせや採用など、ビジネスの成果につながる



「EEAT」の観点から自社サイトをもう少し改善したい、これでよいのかわからない、
そもそもGoogleアナリティクスの確認方法がわからない、といった
ご相談は、ぜひトライプランニングまで。

メンバーシップイベント【報告 & お知らせ】



6月10日、「坐禅&写経」体験
しなやかな心を磨いてまいりました♪

鎌倉 臨済宗大本山「円覚寺」にて、日々の喧騒から束の間はなれ、静けさの中に身を置くひと時。忙しさの中にこそ、自分自身と向き合う、こうした時間が必要だと実感しました。



懇親会ではお酒と美味しい食事
で、あっという間に煩惱まみれに
逆戻り…笑

10/22
(水)

ゴルフコンペ
開催決定！



- ・ 日付 2025年10月22日(水)
- ・ 会場 チェックメイトカントリークラブ
- ・ 住所 足柄上郡松田町松田惣領3033-1

大自然に囲まれた青空の下、メンバー様同士の親睦を深める場になれば幸いです。プレー後には懇親会を予定しておりますので、ぜひお楽しみください。
お申し込みはトライプランニングまで、TEL・メールにて。